

## 令和7年度 学校評価の4点セット整理票(九重町)

I 学期版

九重町立このえ緑陽中学校

令和7年 4月 1日

【学校の教育目標】		自立貢献			資質・能力との関連			
【育成を目指す資質・能力】		①課題発見・解決能力 ②人間関係形成能力						
重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標	担当	知識・技能	断思力・力表・現	性等力の・に活人向養・間か	
【知識・知を構造化する能力の習得】	○【生徒調査】「授業では教え合い学習(わからないところを友だちに聞いたり、教えたたりする取り組み)ができる」との肯定率(4段階評価の4)を70%以上 【教員調査】「生徒同士が教え合ったり説明したりし合う場面を単元に1回以上設定した」の肯定率(4段階評価の4)を80%以上 【生徒調査】「授業の振り返りを自分の言葉でまとめてシートに書けた」の肯定率(4段階評価の3,4)を80%以上 【教員調査】「授業の振り返りを自分の言葉でまとめてシートに記入させた」の肯定率(4段階評価の3,4)を80%以上 【生徒調査】「家庭学習を90分以上取り組めた」の肯定率(4段階評価の3,4)を80%以上 【保護者調査】「子どもが家庭学習を90分以上取り組むように声掛けをした」の肯定率(4段階評価の3,4)を80%以上	学校 ○ 学習内容・学習過程の振り返りの充実 家庭 ○ 家庭学習の習慣化 地域 ○	○ 対話的な学びの推進 ○ 学習内容・学習過程の振り返りの充実 ○ 家庭学習の習慣化 ○	○ 授業者は、生徒同士が教え合ったり説明し合う場面を単元に1回は設定する。 ○ 授業者は、振り返り(毎時間)やポートフォリオ(定期的)を活用し、学習の成果や成長を可視化することで、自己評価や改善につなげさせる。	高村 佐藤 岡松 河津	○ ○		
				○				
				○				
【多面的・総合的・判断に力・考える・表現する・現力の育成】	○ 「携帯スマホ等の使用に関する緑陽中学校自主ルール」についてのアンケートで、自主ルールを「守っている」と回答した生徒の平均を70%以上にする。	学校 ○ 家庭 ○ 地域 ○	○ メディアリテラシー教育の充実 ○ 親子ディスカッション ○	○ 授業者は、SNSやインターネットを活用した情報発信の際の注意点や、情報セキュリティについて、学期に1回は情報モラルに関する授業を行う。 ○ 保護者は、ニュースや新聞記事を題材に、社会で起きている様々な出来事について、親子で意見交換する。	小幡 日野 本河 河上 深瀬	○		
				○				
【学びに他向者からと協力・する人の間性の等育の涵養】	○ 以下のアンケートについて、肯定率(4段階評価において3以上)を70%以上にする。  ①生徒アンケートにおいて「人間関係づくりプログラムを行ったことでクラスメイトとの関わりが増えた」という人の割合で肯定的評価をしたと回答した生徒の割合を70%以上にする。 ②生徒アンケートにおいて「単元に1回以上ICTを使って考えを交流する場面があった」と肯定的評価をした生徒の割合を80%以上にする。	学校 ○ 家庭 ○ 地域 ○	○ 良好的な人間関係の構築 ○ 協働的な学びの実施 ○ 家庭内協力体制の構築 ○ 地域ボランティア活動の推進	○ 学級担任(副担任)は、毎週1回、短時間人間関係づくりプログラムを実施する。 ○ 授業者は、単元に1回以上、生徒がICTを使って考えを交流する場面を設定する。 ○ 保護者は、各自の家庭内での役割分担を明確にし、協力体制を構築する。 ○ 地域は、地域で行われているイベントやボランティア活動への中学生の積極的参加を呼びかける。	阿部 三重野 幸田 村田 小西	○		
				○				
				○				
				○ ○				
【働き方改革の質の向上】	○ 学期末職員アンケートにおいて①月平均40時間以内に在校超過勤務時間を抑えられたという肯定的回答をする職員の割合を70%以上 ②「働き方改革の意識が進んだ」という肯定的回答をする職員の割合を70%以上。	学校等 ○ ○ ○	○ 職員会議を学期に1回(年度当初を除く)にし、内容を精選することで放課後の時間を確保する。 ○ 平日における在校超過勤務時間を月平均40時間以内に抑える。 ○ 学校運営協議会の有効活用	○ 3役会・運営委員会を週1回開催し、そこで職員連絡会や職員会議や職員連絡会の内容について確認する。 ○ 計画年休の取得(学期中に最低2回取得する) ○ I学期の学校行事に関して、学校運営協議会として協力する。	校長・教頭・主幹・事務		該当する項目に○	